

No. **343**
AUTUMN 2023

YASKAWA NEWSは
お客さまと安川電機を結ぶPR情報誌です。

YASKAWA NEWS

特集1
p2

中期経営計画

「**Realize 25**」

特集2
p4

ロボット導入が初めての現場でも
人協働ロボットを簡単に導入できる!

**人協働ロボット
アプリケーションパッケージ**

特集3
p8

カーボンニュートラルに貢献する
安川インバータ

p10 トピックス

米Oishii Farm Corporationとの資本業務提携による
植物工場自動化への取組みについて
安川電機みらい館で「安川電機ガールズデー」を開催
山口県萩市で陸上部合宿、陸上教室を開催
MECHATROLINK協会 2023年度総会開催報告

p13 展示会

「第23回 Photonix (光・レーザー技術展)」出展案内
「FOOMA JAPAN 2023」出展報告

p15 コラム

陸上部NEWS



中期経営計画

「Realize 25」

2023年5月、長期経営計画「2025年ビジョン」(2016年度～2025年度)の最終ステージである中期経営計画「Realize 25」(2023年度～2025年度)を発表しました。
「Realize 25」では、安川グループ経営理念を基本にソリューションコンセプト「i³-Mechatronics※1」(アイキューブ メカトロニクス)を中心とした事業活動を強化し、お客さまが求める「コト」、すなわち「改善や進化」へのソリューションの価値を最大化することで、お客さまへの貢献性を高めます。
当社グループは長期経営計画「2025年ビジョン」の達成を目指すとともに、お客さまの経営課題の解決とサステナブルな社会の実現に寄与していきます。

「Realize 25」の詳細は当社オフィシャルサイトでご覧いただけます。
<https://www.yaskawa.co.jp/wp-content/uploads/2023/05/realize25.pdf>



「Realize 25」の位置づけ

安川グループの2025年ビジョン

コア事業の進化により、お客さまの経営課題の解決に寄与するとともに、
メカトロニクス技術を応用した新規分野の拡大により、社会に新たな付加価値を生み出す

2015年ビジョン
(2006～2015)

2025年ビジョン
(2016～2025)

2035年ビジョン
(2026～2035)

Dash 25
(2016～2018)

高収益企業体質の確立

Challenge 25 Plus
(2019～2022)

新しい価値・市場の創造に挑戦
徹底した収益性改善

Realize 25
(2023～2025)

ビジョンの実現

※1 i³-Mechatronics：当社が1969年に提唱した「メカトロニクス(メカニズムとエレクトロニクスを融合した造語)」に3つの「i」(integrated：統合的、intelligent：知的、innovative：革新的)を重ね合わせ、お客さまの経営課題の解決に寄与するソリューションコンセプト

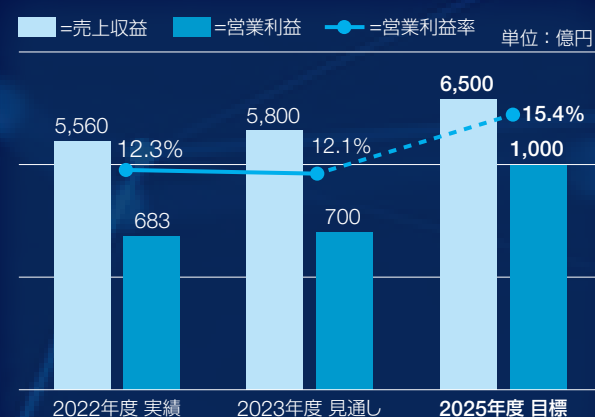
財務目標

2025年度目標として売上収益6,500億円、営業利益1,000億円、
営業利益率15.4%を掲げます。また、ROE※2・ROIC※3はともに
15.0%以上、「配当性向」は30.0%+αとします。投資計画につい
ては、3年間累計額1,500億円としています。

	2022年度 実績	2023年度 見通し	2025年度 目標
ROE	16.2%	14.1%	15.0%以上
ROIC	14.6%	12.3%	15.0%以上
配当性向	32.3%	32.8%	30.0%+α
投資計画	累計投資額：1,500億円(2023年度～2025年度)		

※2 ROE：Return on Equity(自己資本利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益 / 自己資本

※3 ROIC：Return on Invested Capital(投下資本利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益 / 投下資本



基本方針

i³-Mechatronicsの展開とロボティクスの進化により
新たな価値を創出し、「2025年ビジョン」を達成することで、
サステナブルな社会の実現に貢献

1 i³-Mechatronicsソリューションによる価値創出

技術・生産・販売・品質機能の強化

- 技術** お客さまの価値創出につながる技術開発力の強化
- 生産** i³-Mechatronicsによる自社の「ものづくり」進化
- 販売** お客さまのサプライチェーンへの戦略的なアプローチの強化
- 品質** 製品ライフサイクルにおける製品・サービス品質の革新



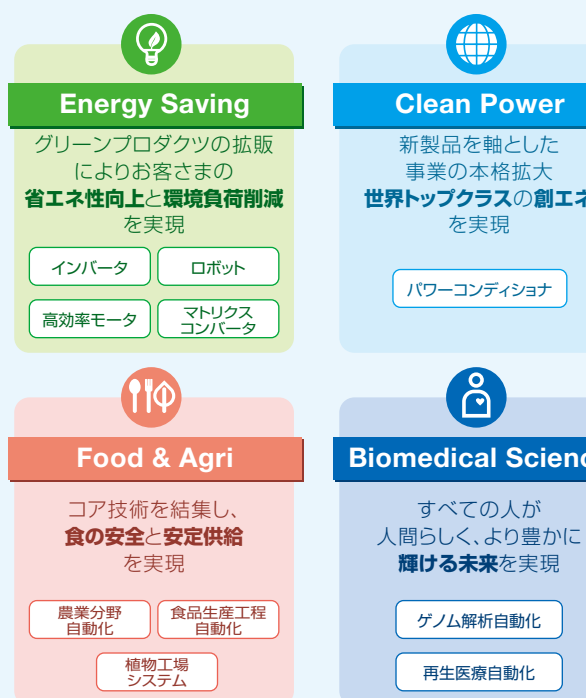
新たな産業自動化革命の実現へ



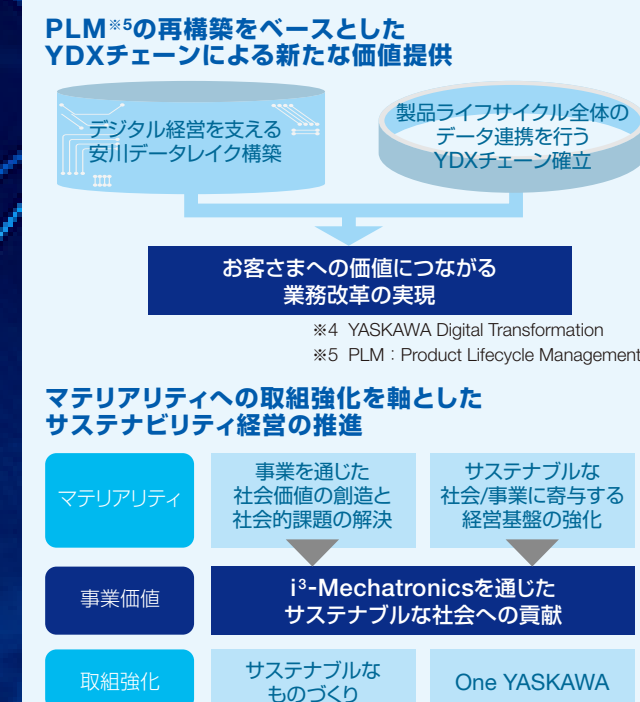
2 世界一/世界初の自動化コンポーネントを軸としたグローバル成長市場攻略



3 メカトロニクス応用領域の事業拡大によるサステナブルな社会の実現に貢献



4 YDX※4とサステナビリティ経営の深化による経営基盤の強化





M6～M20の大型ボルトでも、安全機能ONの状態で締付け 人協働ロボットねじ締めパッケージ

人手によるねじ締め作業で締め忘れ、締付け不足、ツールの反力で作業者が腱鞘炎になるなどのお困り事はありませんか？ また、自動化したいけど、作業スペースが大きいという課題はありませんか？

MOTOMAN-HCシリーズのねじ締めでは、それらのお困り事を解決します。省スペースで導入でき、トルク管理も可能になり、作業者が負担がかかる作業から解放されます。

各ねじ締めツールとの導入検証のテストも可能ですのでお気軽にご相談ください。



！ こんな悩みを解決！

- 締め忘れや締付け不足のヒューマンエラー
- 締付け時の反力で腱鞘炎が起きる
- 作業者によって生産数がばらつく

人手と同じスペースで導入可能

トルク管理可能、締め忘れがなく品質を安定化

一定の作業で生産する安定化



人協働ロボットで人とロボットがゼロ距離で働く塗装工場へ 人協働ロボット粉体塗装パッケージ

ハンドガンで粉体塗装をされているお客さま、人手不足でお困りではありませんか？ 塗料消費量の削減や品質の安定に興味はございませんか？

人協働ロボットなら、作業者と同じ塗装ブースエリアでの共存作業が可能です。例えば、ロボットが大枠の塗装を行い、製品を横にずらして作業者が補正塗装を実施、という流れ作業もできます。既存で使用しているハンドガンや塗装設定をそのまま流用でき、導入も容易です。

粉体塗装の作業負荷、生産性向上にお悩みのお客さまは是非ご連絡ください。



！ こんな悩みを解決！

- 需要はあるのに人が集まらない
- 技術者の育成に時間がかかる
- 人手だと塗布する量がばらつく(塗料消費量)
- 塗装動作は複雑なのでティーチングが難しそう

ダイレクトティーチング機能で難しい操作は不要

衝突検知で自動停止するから安全柵不要

人とロボットで1つのハンドガンを兼用可能

セミナー申込み1000件超え！ パレタイズ・ねじ締め自動化を提案！

人協働ロボットオンラインセミナーの動画を公開

過去に開催し好評いただいた人協働ロボットオンラインセミナーのアーカイブ動画を、当社人協働ロボットの特設サイトで公開しました。人協働ロボットを使った自動化ソリューションとして「人協働ロボットで重筋作業を自動化！ パレタイズソリューション」と「人にもロボットにも優しい！ ねじ締めアプリケーション」の2本を掲載しています。セミナー開催時は合わせて1000件を超える

参加申込みがあり、人協働ロボットソリューションへの注目度の高さがうかがえました。人協働ロボットの導入を迷われている方、自動化を検討されている方、導入後すぐに使える人協働ロボットパッケージをお探しの方へ、提案アイテムとしてご活用ください。

重量物の積付けを省スペースで自動化 人協働ロボットの導入イメージが分かる

MOVIE
約6分

可搬質量30kgの人協働ロボットMOTOMAN-HC30PLによるパレタイズソリューションを紹介しています。高負荷で繰返しの多い積付け工程から作業者を解放します。ロボット導入のビフォー・アフターや、工場に設置した場合のコンパクトなサイズ感がイメージしやすい内容です。



見どころ

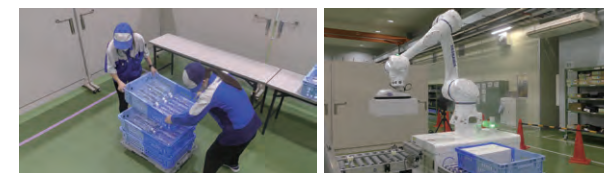
- MOTOMAN-HC30PLの解説、可搬質量30kgのメリット
- パレタイズパッケージのデモンストレーションと解説
- ロボット導入の課題や導入フローを詳しく説明



株式会社 安川電機



動画は
こちらから



ワークの重さが15kgを超える積付け作業も多い。ワークとロボットハンドの負荷が合計20kg以上になる場合でも30kg可搬なら安心

人協働ロボット×オイルパルスレンチで、 高精度なねじ締めを実現

MOVIE
約26分

パワーツールおよび自動機などの製造販売を行う瓜生製作(株)との合同セミナーです。可搬質量10kgの人協働ロボットMOTOMAN-HC10DTPと、瓜生製作のねじ締めツール「オイルパルスレンチ」による人協働ロボットねじ締めパッケージを、実演を豊富に交えて紹介します。

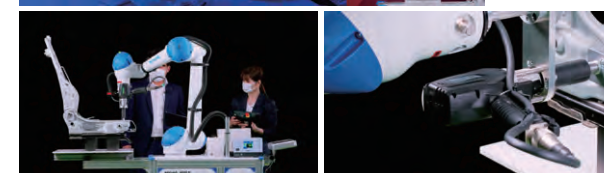


見どころ

- 人協働ロボットMOTOMAN-HCシリーズの解説
- オイルパルスの特長紹介(作業者の負荷低減、高精度締付けによる信頼性向上)、ねじ締め実演
- 人協働ロボットパッケージによるねじ締め操作デモと解説



動画は
こちらから



セミナー登壇者が人協働ロボットのすぐそばでねじ締め操作を実演。人と空間を共有しているときのロボットの速度もイメージできます

人協働ロボットの動画を見るならまずはココ！ 特設サイトに動画一覧ページができました



上記2つのセミナー動画は、当社の人協働ロボットの特設サイトに掲載しています。動画一覧ページには、セミナー動画のほか、展示会・デモ機動画へのリンクや製品機能紹介動画などを集約しており、今後も随時追加いたします。

以下のQRコード、または当社e-メカサイトのトップページから特設サイトにアクセスください。

安川電機の人協働ロボットMOTOMAN-HCシリーズの
導入事例・動画
を見てみませんか？

＞ 安川電機の人協働ロボット特設サイトへ



カーボンニュートラルに貢献する 安川インバータ

モータ駆動の電力消費量

三相誘導モータ(以下 モータ)による消費電力量は、世界の電力量全体の40~50%を占めるとされており、相当量のエネルギーを消費する機器となっています。

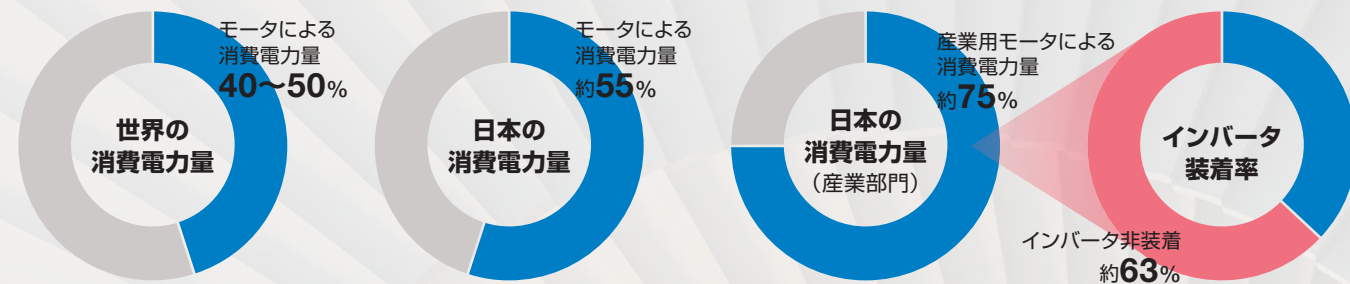
日本において、それらによる年間の消費電力量は、わが国の全消費電力量の約55%、産業用モータによる年間の消費電力量は、産業部門の消費電力量の約75%を占めると推計されています。^{※1}

インバータの用途は、ますます広がっていますが、2020年度「モータ・インバータに関する調査」報告書(相手側機構調査)の

結果によれば、インバータの装着率は約37%とまだまだ低い。ため、インバータが活躍できる設備を拡大することで、より一層のカーボンニュートラル、省エネ化を図ることができます。^{※2}

※1 日本電機工業会「トップランナーモータ」
[https://www.jema-net.or.jp/jema/data/S5238\(20211220\).pdf](https://www.jema-net.or.jp/jema/data/S5238(20211220).pdf)

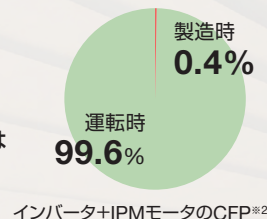
※2 日本電機工業会「持続可能な社会に貢献するインバータ」
[https://www.jema-net.or.jp/jema/data/S5200\(20211220\).pdf](https://www.jema-net.or.jp/jema/data/S5200(20211220).pdf)



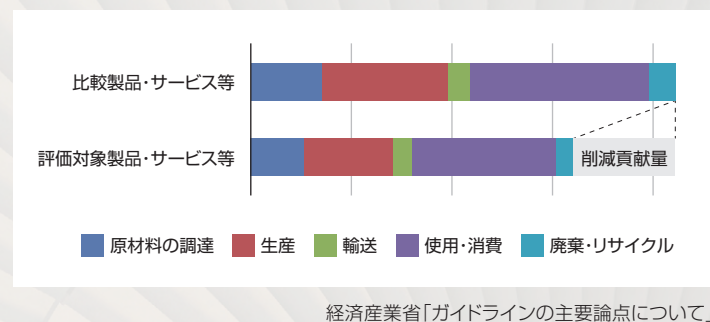
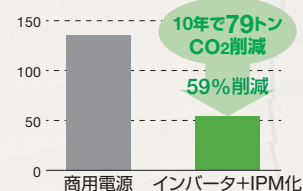
インバータドライブのLCA^{※1} (Life Cycle Assessment)

LCAは、「原材料の調達」「生産」「輸送」「使用・消費」「廃棄・リサイクル」の工程で発生するCO₂の量をもとに評価されます。インバータやモータも製造に起因するCO₂の発生量の増加はありますが、「生産」「使用・消費」工程におけるCO₂削減で遥かに大きな効果を得ることが可能です。

インバータ、モータのLCAにおける製造時CO₂排出量は極少量



インバータを運転することでCO₂は発生するが商用運転駆動と比較し、大幅な削減を見込める



LCAの工程におけるインバータおよびモータの影響

LCA工程	発生要因	CO ₂ 発生量 ^{※3}
原材料の調達	インバータ、モータ製造に起因するCO ₂ 発生	増
生産	生産設備としてインバータ、モータを使用	減
使用・消費	インバータ、モータを搭載した機器を自社設備として使用	減

※1 製品またはサービスが、ライフサイクル全体または特定段階において環境へどのような影響を与えているかを適切かつ定量的に評価する手法
 ※2 Carbon Footprint of Productsの略称で、製品またはサービスがライフサイクル全体を通して排出する温室効果ガスをCO₂に換算し表示する仕組み
 ※3 モータ商用電源使用との比較

カーボンニュートラル、省エネに貢献する安川ドライブ

インバータを使用してファン、ポンプ等を風量・流量制御することで、省エネになることは広く知られています(第1の省エネ)。高効率モータ、PMモータを使用することで、も省エネになります(第2の省エネ)。

第1の省エネ インバータの適用

ダンパによるファンの風量制御をインバータ化することで省エネを実現。



効果(年間) ●年間節約電力量 約18,600 kWh ●年間CO₂削減効果 約7.6 t

【条件】

用途 ファン 負荷率 40% 稼働時間 12時間・300日 モータ出力 7.5 kW

第2の省エネ 高効率モータの適用

高効率モータ(IE3/IE4)を適用することで省エネを実現。



効果(年間) ●年間節約電力量 約350 kWh ●年間CO₂削減効果 約0.1 t

【条件】

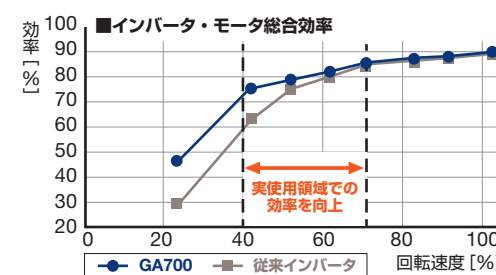
用途 ファン 負荷率 40% 稼働時間 12時間・300日 モータ出力 7.5 kW

2016年に発売し好評をいただいているGA700シリーズは、モータ制御性能を向上し、従来モデルと比較し、更に運転効率が向上しました(第4の省エネ)。

※第3の省エネは電源回生省エネのため、本紹介では割愛します。

第4の省エネ モータ効率の向上

モータの消費電力を監視しながら消費電力が小さくなるよう制御する新機能により、モータの効率を向上します。



効果(年間)

●年間節約電力量 約11,000 kWh
●年間CO₂削減効果 約4.5 t

【条件】

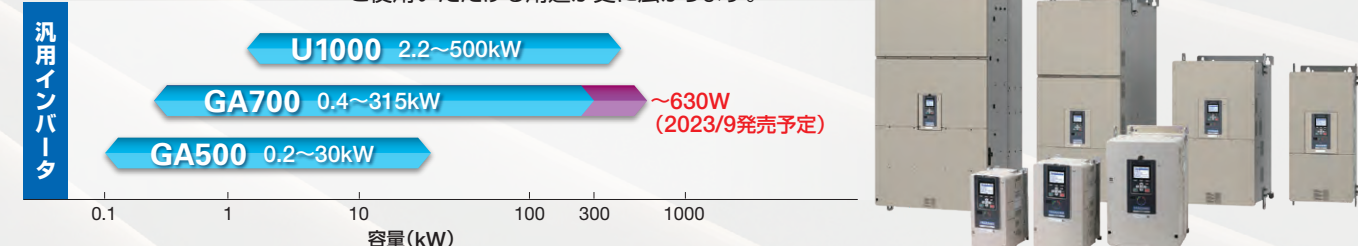
用途 空調ファン(高効率モータIE3適用) 7.5 kW
回転速度(負荷率) 40% 台数 10台
年間稼働日数 24時間・365日
CO₂係数: 0.412 (kg/kWh)

(注) 省エネ効果は、モータの特性や性能によって異なります。

PMモータ制御およびEZベクトル制御時のみ有効です。負荷変動が少ない用途(ファン・ポンプなど)に有効な機能です。

更に容量拡充

GA700は、400V級の容量範囲を更に拡大しました。ご使用いただける用途が更に広がります。



● お問い合わせ先: インバータ事業部 応用技術部 ドライブ販売推進課 TEL: 0930-25-2548 FAX: 0930-25-3431

次期五輪などに向けた強化トレーニングを実施 山口県萩市で陸上部合宿、陸上教室を開催

6月12日(月)～17日(土)の6日間、当社陸上部が山口県萩市でチーム強化合宿を行いました。ロンドン五輪6位という実績を持つ中本健太郎監督が山口県出身ということもあり、同市から熱心なお誘いをいただき合宿が実現しました。

今回の合宿では今秋、パリ五輪日本男子マラソン代表選考会に出場を控えている古賀淳紫選手を始め、7月に北海道各地でトラックレースを転戦する「ホクレン・ディスタンスチャレンジ2023」や、8月末の「北海道マラソン2023」に出場を予定する選手などが、目標のレースに向けて強化を図りました。

6月14日(水)には合宿受入れのお礼とご挨拶を兼ねて、中本監督と平山竜成コーチが萩市 田中文夫市長を表敬訪問しました。

中本監督から今回の合宿の目的や今後のスケジュールなどを報告すると、「萩市での合宿が実りあるものになるよう、練習に励んでください」と市長からお言葉をいただきました。

また、合宿期間中に地域交流の一環として、中学生を対象に2度の陸上教室を開催しました。市立川上中学校で開いた陸上教室では全校生徒6人のうち5人の生徒さんが、市立須佐中学校と市立田万川中学校の合同で行った陸上教室では23人の生徒さんが参加し、古賀選手、加藤風磨選手、今期入部した佐藤俊輔選手が講師を務め、生徒の皆さんと一緒に走る楽しさを共感しました。

左から、萩市教育委員会 池田廣司教育長、田中文夫市長
中本監督、平山コーチ、萩市陸上競技協会 高屋英人会長



市立川上中学校での陸上教室の様子



● お問い合わせ先：コーポレートブランディング本部 広報・IR部 広報推進課 TEL: 093-588-3076 FAX: 093-645-8831

植物工場へ自動化ソリューションを提供

米Oishii Farm Corporationとの資本業務提携 による植物工場自動化への取り組みについて

当社は、Oishii Farm Corporation(以下 Oishii社)と、5月30日(火)に資本業務提携を行いました。Oishii社が展開する植物工場に対して、当社が推進するソリューションコンセプト「i³-Mechatronics」に基づく自動化ソリューションを提供することで、農業・食品分野での自動化のグローバルリーダーを目指し、食の安定供給等によるサステナブルな社会の実現に貢献していくことを本資本業務提携の目的としています。

Oishii社は米国ニュージャージー州を拠点にいちごを製造・販売するベンチャー企業であり、栽培サイクルが長く最も高度な農作物といわれるいちごを、ハチによる自然受粉を用い、世界で初めて安定量産することに成功しています。また、自然とテクノロジーを融合させながら、雨・空気・熱・光・栄養といった要素を植物にとって最適な条件で再現し、年間を通して旬のいちごを消費者向けにお届けすることを可能にした企業です。将来的には、いちごの完全自動生産の実現を目指しています。

一方、当社は新中期経営計画「Realize 25」の主な戦略の一つとして、メカトロニクス応用領域の事業拡大を掲げ、これまで培ってきた工場自動化技術を農業・食品分野に活用する取組みを強化しています。またグループ会社の株式会社FAMSでは、これらの技術を応用した植物工場システム「アグリネ」を開発・販売しております。

このたびの資本業務提携では、Oishii社が今後建設予定の工場で行う全行程(播種・育苗～収穫・検査～箱詰め・出荷)の自動化の取組みに対して、安川グループが持つロボットなどの製品およびソリューションを提供していきます。

農業技術と工業技術の結晶として産まれた植物工場は、消費市場への安全・安心な供給、自然災害からの回避による安定生産、労働力不足の解消などにつながるものであり、当社としてこのOishii社との協業を通じて農業・食品分野におけるサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

● お問い合わせ先：コーポレートブランディング本部 広報・IR部 広報推進課 TEL: 093-588-3076 FAX: 093-645-8831

未来のリケジョを育むためのイベント

安川電機みらい館で「安川電機ガールズデー」を開催

8月3日(木)に安川電機みらい館にて4年ぶりに参加者が一堂に会し、「安川電機ガールズデー」を開催しました。「ガールズデー」とは、理系のお仕事を女子中学生に紹介するドイツ発祥のイベントです。

北九州市立大学の「北九州サイエンスガールプロジェクト」とコラボし、「みらい館・工場見学+女性技術者のお仕事紹介+ロボット操作体験+座談会」という構成で実施しました。

最初は緊張した面持ちで参加していた中学生も、当社の産業用ロボットMOTOMANを実際に操作し、女性技術者や大学生との交流を通して次第に笑みがこぼれ、「楽しかった」「また参加したい」と言ってもらえることができました。

理系進路の最初の一歩は、高校での文系・理系選択から始まります。「数学が苦手だし、文系かな」と思っている方でも、苦手だからといった消去法で進路を決めるより、どんなことをやってみたいか、好きと思うことで進路を決めてもらいたい。そんな思いで、2015年から継続してこのイベントを開催しています。



● お問い合わせ先：総務・リスクマネジメント本部 総務部 社会・多様性推進課 TEL: 093-588-3077 FAX: 093-645-8831

モーションフィールドネットワーク MECHATROLINKを世界へ普及 MECHATROLINK協会 2023年度総会開催報告

MECHATROLINK協会(MMA)2023年度総会が、4年ぶり
に対面で開催されました。始めの挨拶では、MMA幹事長として
当社 上山モーションコントロール事業部長が、これまでのコロナ
禍の状況下での振り返りと、今後の更なる技術革新・自動化へ
の期待の高まりに対する思い、MECHATROLINK対応製品や
開発環境整備の加速化についてスピーチを行いました。

総会前半の部では、MMA事務局代表から2022年度活動
報告および2023年度活動計画が発表されました。続いて、メン
バー企業による新製品紹介では、神港テクノス(株)と当社が
MECHATROLINK対応製品の発表と製品の展示を行いました。
続いて、近年取り組んでいる連携活動として、一般社団法人日本
インダストリアルイメージング協会(JIIA)とMMAによるマシン
ビジョン機器のMECHATROLINKへの適用について発表が
ありました。

後半の部では、発足から20周年の記念イベントとして、落語家
の林家たい平様による特別講演が行われました。「笑顔のもと
に笑顔が集まる」というタイトルで、様々な人との出会いから
得られたエピソードは心に響くものがあり、表情豊かに聞き入っ
ている聴講者の様子がとても印象的でした。

また、総会終了後に開かれた懇親会では、参加者同士が和気
あいあいと楽しまれている様子でした。

今後も、MECHATROLINKの普及活動に積極的に取り組んで
まいります。



2023年度総会の様子



落語家 林家たい平様



MECHATROLINK協会とは？

安川電機が開発・製品化したMECHATROLINKを世界に普及させるために2003年にオープン化
し発足された組織です。製品開発メンバーおよびユーザーで構成されています。安川電機を含む、
幹事会社8社を中心に運営されており、今年で20周年を迎えました。

内容／タイトル		発表者
1 開会挨拶	MECHATROLINK協会 幹事長	上山 顕治
2 MECHATROLINK協会 活動報告および計画	MECHATROLINK協会 事務局代表	下畑 宏伸
3 新製品紹介 ①株式会社 安川電機 ②神港テクノス株式会社	技術開発本部 コントローラ開発部 顧問	今永 一弘 横溝 然 様
4 発表 JIIA/MECHATROLINK協会 連携活動 「マシンビジョン機器のMECHATROLINKへの適用について」	次世代Visionネットワーク準備部会 主査 MECHATROLINK協会 事務局	遠塚 弘 様 坂田 篤宣
5 20周年記念イベント：特別講演 「笑顔のもとに笑顔が集まる」	落語家	林家 たい平 様

● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 ソリューション戦略部 パートナ拡大推進課 TEL: 04-2962-6359 FAX: 04-29626138

光・レーザー関連技術の総合展 「第23回 Photonix（光・レーザー技術展）」出展案内

光・レーザー関連技術の総合展「第23回Photonix」が2023年
10月4日(水)～6日(金)の3日間、幕張メッセで開催されます。

安川電機ブースでは、銅の溶接に最適な青色レーザーと基本
波レーザーとのハイブリッドレーザー、リングモードレーザーな
ど業界のトレンドに対応したデジタルガルバノスキャナ
「MIRAMOTION」を様々な事例を交えて紹介いたします。是非
ご来場ください。

会 期 2023年10月4日(水)～6日(金)
10:00～18:00(最終日のみ17:00まで)
会 場 幕張メッセ
安川電機ブース小間番号：49-32(8ホール)
主 催 者 RX Japan 株式会社
U R L <https://www.material-expo.jp/tokyo/ja-jp.html>

デジタルガルバノスキャナ MIRAMOTION

2Dガルバノ スキャナユニット	3Dガルバノ スキャナユニット	2Dガルバノ ヘッドユニット	高出力3Dガルバノヘッドユニット		
YD-200	YD-300	YD-2000WM	YD-3000M-ML	YD-3000S	YD-3000-IRM-B
対応波長：●●●	対応波長：●●●●	対応波長：●	対応波長：●	対応波長：●	対応波長：●●
ガルバノユニット 基本構成の 高速・高精度対応 2Dガルバノ スキャナユニット	レーザー発振器と 接続するだけで 簡単にシステム化 できる3Dスキャナ ユニット	ウォブリング専用 2D小型ガルバノ ヘッドユニット	高出力(最大10kW) マルチモード ファイバーレーザー 専用3Dガルバノ ヘッドユニット	高出力シングル モードファイバー レーザー専用 3Dガルバノ ヘッドユニット	BLUE & IR 重畳 ハイブリッド 3Dガルバノ ヘッドユニット

● 355nm ● 450nm ● 532nm ● 1050-1090nm ● 9.3-10.6μm



高速・高精度なガルバノ制御を実現する
多機能コントローラ
3000CD

前回(2022年)の安川電機ブース



● お問い合わせ先：営業本部 自動車営業統括部 西部営業部 レーザーソリューション営業課 TEL: 048-871-6892 FAX: 048-871-6920

世界最大級の食品製造総合展 「FOOMA JAPAN 2023」出展報告

6月6日(火)～9日(金)の4日間、東京ビッグサイトで開催された「FOOMA JAPAN 2023」に出展し、多くのお客さまにご来場いただきました。当社ブースでは、サステナブルな社会の実現に向けて、食品ロス削減・食の安定供給などのニーズにお応えできるソリューションをご提案しました。

人協働ロボットを活用した「原料取出しシステム」を始め、

人協働ロボットによる「原料取出しシステム」

原料工程の自動化に、人協働ロボットを活用する一例をご紹介します。20kg可搬のロボットが棚から原料が入った箱を取り出し、10kg可搬のロボットが箱から生産に必要な分の原料を取り出すデモンストレーションです。上位のコントローラで生産レシピを管理し、そのデータに基づいて2台のロボットが作業します。自動化により、データの見える化、正確な動作による無駄の削減が可能です。さらに自動化したセルをコントローラで最適制御することにより、変種変量生産へも対応します。



AI画像判定ソリューション「Y's-Eye」

AIを活用した検査工程のソリューションをご紹介します。AIスマートカメラを使った検査システムに、不良品除去の機構をセットにしたパッケージ「Y's-Eyeコンパクト」という新商品です。良品製造のニーズの高まりから、AIを活用した異物検査が増えていますが、この「Y's-Eyeコンパクト」は「置いてすぐ使える、置きポン」をコンセプトに、省スペースを向上しており、1m四方で納まります。展示会でのワークは、冷凍ハンバーグをイメージしていましたが、最近ではコロッケやナゲットなどの冷凍食品の検査で多くのご要望をいただいております。



AI画像判定ソリューション「Y's-Eye」、植物工場システム「アグリネ」、i³-Mechatronicsを具現化するコンポーネントなどの展示を通じて、当社が目指す“食の安全と安定供給の実現”をお客さまに広くお伝えできたのではないかと思います。

今後も次世代の食づくりのヒントとして、様々なソリューションを提供してまいります。

完全人工光型 植物工場システム「アグリネ」

当社では、中期経営計画で掲げる“サステナブルな社会の実現に貢献”の一つとして、“コア技術を結集し、食の安全と安定供給の実現”を掲げています。安川電機のコア技術を結集した植物工場システム「アグリネ」は、光、養分、温度、湿度など野菜に必要な環境データを制御するとともに、独自開発のコマ&レール方式で野菜をロボットが1株ずつハンドリングして、種まきから収穫まで自動化。野菜の品質安定や長鮮度化に貢献します。



i³-Mechatronicsを具現化するコンポーネント

セルを最適制御するYRM-Xコントローラと、安川電機のコア技術であるサーボ、インバータ、更にその技術から生まれたロボットを接続し、“データを活用して動きに変える”機能をご紹介します。YRM-Xコントローラと“YASKAWA Cockpit”を連携させることで、時系列に同期されたデータの収集・解析を一括して実施し、リアルタイムに分析したデータのフィードバックを実現します。これがデータを活用して動きに変える仕組みとなり、変種変量生産や良品製造に貢献します。

※「Y's-Eyeコンパクト」は(株)アイキューブデジタルの製品です。
※「アグリネ」は(株)FAMSの製品です。

当社企業サイトでは、展示デモの技術紹介を「テクニカルレポート」として公開しています。是非ご覧ください。

<https://www.yaskawa.co.jp/technology/technical-report/detail230823>



● お問い合わせ先：営業本部 食品営業部 TEL: 03-5402-4579 FAX: 03-5402-4581



トラックシーズンは若手が活躍!

陸上部のメンバー紹介や大会結果、スケジュールなど詳しい情報は、陸上部公式サイトでご確認ください。
<https://sports.yaskawa.co.jp/track-field/>



4月から開幕したトラックシーズンでは若手選手の活躍が目立ち、チームに活力を与えてくれました。

新入部員の助川拓海選手、笠原大輔選手が入社後初レースで5000mの自己ベストを更新すると、チーム全体が勢いに乗り始めました。5月に開催された九州実業団選手権では、10000mの1組目に出場した鈴木創士選手が他を圧倒するラストスパートを繰り出し、見事組1着でフィニッシュしました。1500m・5000mに出場した漆畑瑠人選手は、両種目とも2着でフィニッシュ。1500mでは外国人選手のハイペースに対応し、自己ベストを更新しました。

6月に開催された北九州市民選手権の5000mでは、鈴木創士選手が組1着でフィニッシュし、自己ベストを更新。九州実業団選手権に引き続き、勝負強さを発揮しました。各チームのエース級が集う最終組に出場した合田棕選手も、持ち前のスピードを活かし日本人選手トップでゴール。今季3回目の自己ベストを更新し、好調をアピールしました。



鈴木創士選手



選手コメント

漆畑 瑠人

5月に行われた九州実業団選手権では1500m、5000mの2種目で2位となり、結果を残すことができました。しかし、上期全体を通して目標としていたタイムを出すことができず、自分自身まだまだ力不足だと感じたシーズンでもありました。

これから夏の強化期間となりますが、自分の課題を克服し、秋以降の駅伝シーズンでチームの中心選手として結果を残せるよう頑張っていきたいと思っています。

自動化、もっと手軽に始めよう。 人協働ロボットで、課題を解決!

自動化の課題解決は私たちにお任せください!
防じん・防滴仕様や食品仕様、
ハンドキャリータイプなど多彩なラインアップを準備。
製造工程の様々な作業に対し、豊富な実績とノウハウで、
皆さまの製造現場に合った自動化ソリューションをご提案します!

豊富なラインアップで、あなたの現場をしっかりサポート!



MOTOMAN-HC10DTP
(防じん・防滴仕様)



MOTOMAN-HC10SDTP
(防じん・防滴仕様)



MOTOMAN-HC10DTP
ハンドキャリータイプ



MOTOMAN-HC10DTP
(食品仕様)



MOTOMAN-HC20DTP
(防じん・防滴仕様)



MOTOMAN-HC20SDTP
(防じん・防滴仕様)

導入後のビフォアサービス、アフターサービスも充実

- 安心のグローバルサービス網でお客さまの課題を解決いたします!
- 24時間365日対応のYASKAWAコンタクトセンターで購入後も安心!

人協働ロボットスペシャルサイト公開中!

安川電機の製品・技術情報サイト“e-メカサイト”では、[資料請求は今すぐサイトをチェック▶](https://www.e-mechatronics.com/)
人協働ロボットのスペシャルサイトを公開中です。 <https://www.e-mechatronics.com/>



■ 各種機能を動画で紹介 ■ 適用事例を順次拡充中 ■ すぐにつながる他社製周辺機器を公開

初めてロボットを使用する人に
最適な「スマートモード」搭載。
スマートペンダントがあれば
誰でも簡単に操作が可能です。



- 10.1インチ大画面タッチスクリーン
- 直感的な操作が可能なスマートモード搭載
- 初心者向けのガイダンス・ヘルプ機能搭載

株式会社 安川電機

営業本部 第1営業部 〒105-6891 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー8階
TEL (03)5402-4525 FAX (03)5402-4581【公式サイト】<http://www.yaskawa.co.jp>

